



山名一族会報

全 國 山 名 氏 一 族 会
 〒667-1311 兵庫県美方郡香美町村岡区
 電話 0799619811
 FAX 0799619811
 村岡2365法雲寺内

令和6年山名会歴史講演会を実施

昨年の11月10日に、第28回山名会総会の開催に合わせて、京都・西陣織会館を会場に山名会歴史講演会を開催しました。講演会には山名会員含めて80名程のご参加をいただき、賑やかに講演会を開催することが叶いました。今回はその概要をご報告します。

7年振りの講演会実施

前回、全国山名氏一族会（以下、山名会）で歴史講演会を開催したのは、応仁の乱から550年を迎えた平成29年（2017）に、歴史新書では珍しいベストセラーとなった『応仁の乱』を著された呉座勇一先生を西陣織会館にお招きした時以来のこととなります。

その後、平成30年は群馬、令和元年は但馬を会場にして、2年連続で歴史探訪を中心とした総会行事が続きましたの

で、次回は歴史講演会の開催を検討していたのですが、令和2年からの数年間は新型コロナウイルス感染症の流行により、集まること自体が憚られるような年が続ぎ、山名会も活動休止を余儀なくさせられました。それでも令和4年の秋には流行も峠を越え、令和5年の春からは、社会全体で以前の



日常に戻る機運が賑やかになり、山名会も秋に相模路をコースとした歴史探訪の総会行事から活動を再スタートさせました。

山名会の周知を願って

ところで、コロナ流行の間が長かった為に、各種付き合いの整理を進められた方々も多いようで、山名会もそんな会員方から退会の連絡が続ぎ、会員数が50名近くまで目減りしてしまいました。この状況を受けて令和6年春の役員会では、山名会の活動について広く知ってもらい、少



講演前の会場風景

しても会員増に繋がる事を願って、今回の総会では一般聴講者も参加頂ける歴史講演会を開催する事となりました。

肝心の講師の選任ですが、一般聴講者を多く誘い込んでくれるような講師ということではテレビの歴史番組等で活躍されている方々のお名前も上がりましたが、山名氏に関わりのあるお話がいただけるか不明なところもあり、最終的には役員方の尽力により講師は京都市考古資料館館長の山本雅和先生にお引き受けいただきました。

山本先生は、「東陣」に脚光を当てて上京区を活性化させる取組「東陣プロジェクト」の設立メンバーでもあり、京都の歴史や、そこにまつわる山名氏の関わり等もご専門の範囲かと思われまますので、今回の山名会歴史講演会の講師には最適な方に辿り着くことが出来たのだと思います。

また山本先生には、本来ならこちらからご相談に上ら



公演中の山本講師

せていただくべきところ、講演内容の打合せに、自ら事務局の元に足を向けていただき、山名会側の希望を丁寧に聞いて貰いました。

講演内容

そして、講演では山名勢力が北朝・南朝の間を行きつ戻りつし、分かりにくい時代である南北朝や明徳の乱辺りの事を中心としてお話しいただける事となりました。

講演当日は、山名会員20数名と、一般の聴講者含めて約80名の方々がご参加いただき、山本先生の柔らかく、丁寧な語り口で、準備していた資料に沿って、濃い内容



歴史講演の様子

容のお話をたっぷりと語っていただきました。

講演は、南北朝時代の中心人物の一人である後醍醐天皇に関するお話しから始まり、足利尊氏・山名時氏との関わり、室町幕府の制度や将軍と守護大名との関係性、幕府の財政政策等の基礎的な事柄を確認した上で、明徳の乱に至る流れをご説明いただきました。

また、金閣・銀閣に代表される北山・東山文化の史跡について、山本先生が関わられた遺跡発掘の調査結果を交え、各史跡の意外な一面についても教えていただきました。



左から山名靖英理事長、山名年浩相談役、山本講師、豊田博一東陣プロジェクト事務局長、山名大介副理事長の各氏

講演内容につきましては、現在、講演録を作成中です。後日、完成しましたら皆様の元に、お送りしますので、今暫くお待ちください。

講演後の歴史討論

講演の後には、しばし質疑応答の時間を挟み、山名会や東陣プロジェクトから代表数名が前に出て山本先生を囲み、山名会歴史講演会のまとめとして歴史討論の場を持ちました。講演内容から見えた室町文化の姿や、中世の歴史に与えた山名氏の役割等について

意見交換を行った後、山名会・東陣プロジェクト、共に歴史を軸として活動する両団体ですが、今後も活動を重ねて発展を目指すことを確認して、歴史講演会の場を閉じました。

年次総会

その後、山名会会員はその場に残り山名会年次総会を行い、令和6年度の報告と7年度に関する計画を検討しました。総会の報告事項や本年年度の計画等については、別刷りの資料を準備してありますので、そちらをご覧ください。

7年度の総会会場は

なお、令和7年度の山名会総会につきましては、予めより提案がありました備後(安芸)方面を1泊日程で訪ねる計画を進めてみてはとのご意見をいただきました。次回役員会において計画を具体化させたいと思いますので、予定が本決まりとなりましたら、ご参加の程お願い申し上げます。

山名会の社団法人化

総会の意見交換の部分で少し触れたのですが、令和元年から提案が上がっていましたが山名会の社団法人化の件ですが、元々は、任意団体の「山名会」では、新入会のお誘いをした場合でも、どのような団体か分かりにくいこともあり、少し社会的な信用をつける意味もあって、社団法人化の検討を始めていました。

しかし、こちらの課題もコロナ流行期間に役員会も開催出来なくなりました事により、検討が中断しておりました。

山名会が社団法人に相応しい活動実績が伴ってこそ社団



懇親会開宴の様子

懇親会

法人化も本来の価値を持つかと思えますので、活動面・会計面の充実を視野に入れて、今後も検討を続けて行きたいと思っています。

懇親会の場合は、西陣織会館から少し離れた蛤御門前の京都ガーデンパレスホテルに取りました。京都は観光のハイシーズンで事前のタクシー予約が出来なくて移動のタク



講師の山本先生を囲んで（懇親会場）



久々のご参加の方、初めての方。皆さん最後までお付き合いいただきました。（懇親会場）



等持院の達磨像

シーを確保するのに手間取りました。そんな事もあって、懇親会参加者の中にはタクシーの手配が間に合わず1キロ少しの距離を歩いて向かわれた方も有ったようで、申し訳ないことをしたようです。

懇親会には講師の山本先生を含んで24名の皆さんが参加いただき、少人数のテーブルに分かれて語らいの一時を過ごしました。初参加の方や久々のご参加の方も有ったので、宴も盛り上がって来たところで、自己紹介や各氏が取り組んで居られる調査や研究の状況報告、また山名会の活動に関するご意見も頂戴しながら、賑やかに和やかに一時を過ごすことが叶いました。この時を楽しみに京都まで足を伸ば

して来たと言われる方も有り、事務局としては、この場を提
供できたことに喜びを感じて
おります。

今回は、懇親会までが全体
行事でしたので、お開きの後
はご帰宅や京都宿泊とそれぞ
れのご都合に分かれました。

次回もまた皆様方と楽しく
語らえる一時を持てますよう
に、ご参加お願い致します。

総会の会計状況

現在のところ下表のような
会計決算状況(暫定)となっ
ております。今回は一般聴講
者からの参加費を集めており
ませんので、赤字を前提とし
た会計でしたが、協賛金のチ
ラシ広告と東林院様からのお
祝いによって、大いに救われ
ました。ご協力者各位には深
く感謝申し上げます。

ご覧のように不足分は、山
名会の通常会計から5万円程
の助成金支出で賄う積もりで
居ります。次回役員会にて、

現在の会計状況を報告の上、
役員会での承認をもって正式
な総会会計決算としたいと思います。

第28回総会並びに歴史講演会会計状況
R6/11/10実施
山名会員参加者24名、一般聴講等55名、計79名

	決算額
収入総額	365,518
支出総額	365,518
差引	0

収入の部

項目	決算額	摘要
会員参加費	222,000	講演会23名、懇親会22名
協賛金	72,000	総会お祝い、チラシ広告料
助成金	53,518	前期会計より3万円、今期会計より23,518円
雑収入	18,000	当日の書籍等販売
	365,518	

支出の部

項目	決算額	摘要
会場費	55,737	西陣織会館会場借用
活動費	25,013	事前準備、資料印刷代等
謝礼	80,000	講師・登壇者謝礼、打合せ時のお車料含む
お供え	10,000	東林院御礼(11月11日)
食費	175,876	準備役員弁当、懇親会経費(参加者23名)
宿泊費	8,000	部屋変更に伴う差額助成、2千円×4名
雑費	10,892	お茶・タクシー・送金料
	365,518	

協賛金のご報告

お名前	協賛額	備考
東林院	30,000	総会お祝い
山名脳神経クリニック	20,000	チラシ広告料
エイトクリエーション	20,000	チラシ広告料
山名嗣宣	2,000	総会お祝い
	72,000	



不足金は、山名会通常会計より助成金を支出して処理したいと思います。

編修後記

令和5年の歴史散策、今回の歴史講演会開催で、コロナ明け後に2回の総会行事を無事に行う事が出来ました。数年に渡るコロナ期の活動停滞により立ち行かなくなっている行事や団体も多いと聞きますが、山名会が活動を継続できたことは、ご理解有る会員の皆さんの存在と、役員方の積極的な協力があってのことかと思えます。感謝申し上げます。

今後、山名会がどのような活動を目指すのが正解なのかは良く分かりませんが、今まで通りの定例行事を引き継ぎつつ、新たな要素を加えて深化させていくのが手堅い進み方かと思っております。

今回の総会行事後2名の方が入会申込をいただきました。まだ人数は少ないですが、役員会での相談が功を奏したのだと思いたいです。

本文に掲載の如く、令和7年度の総会行事の候補地として、備後・安芸方面を会場に1泊日程の歴史探訪を提案しており、春の役員会で具体的な訪問先や旅程等を検討したいと思えます。

この方面の東広島市には、今回の総会にご参加いただいた山名征三氏が医学の傍ら、独力で築かれた「仙石庭園」(<https://senseki.org/>)があります。

同庭園は現代版大名庭園の再現を目指された庭石専門の博物館でもあるという事です。こちらを、次回の歴史散策の訪問先の一つとして訪れてみたいと願っていますので、ご参加の程、よろしく願います。